

補聴器が使えない難聴者の為のGMT骨導補聴器の開発、装用の工夫、及び
骨導補聴器の安全性測定方法の研究開発 概要

ディー・シー・シー株式会社

【 報告書PDF 0.16 MB 】

1. 全体の概要

開発の目的は、先天性両側小耳症・外耳道閉鎖症の子供達が現在使っている大きくて重いカチューシャ・ヘッドセットに代わる、小型軽量で左右如何なる形状の耳にも両耳装用できる補聴器の装用方法を開発する事でした。そして成人で気導式補聴器が使えない難聴者も装用できるメカニズムを持つものを目指しました。その結果、任意の場所に貼り付けるだけで聴こえるコンタクト方式を開発しました。販売開始は平成28年4月頃の予定です。

2. 試作した機器またはシステム 「コンタクト・アダプター」

左右の耳の形状が外耳道形成過程などの如何なる状態であっても両耳装用を可能にし、先天性両側小耳症・外耳道閉鎖症患者が今現在使用しているカチューシャ・ヘッドセット以外の方法での装用方法として、次世代型骨導補聴器のプレスティン®ベータに取り付けるコンタクト・アダプターを開発しました。安全な医療用接着テープでアダプターを任意の位置に貼り付けて使用します。

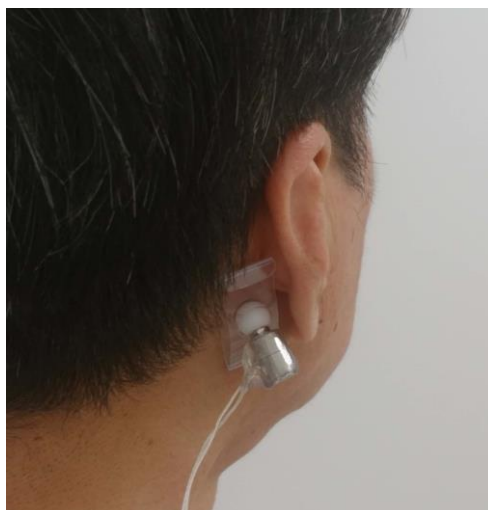


図1 実装写真

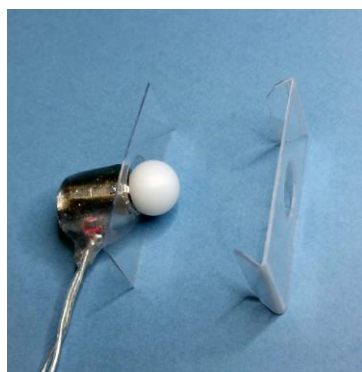


図2 コンタクト・アダプターの仕組み



図3 アンプとパワーユニット一式